



障害児と遊ぶコミュニケーション研修 ～多様性を尊重し、 コミュニケーション力を飛躍的に向上～

- 新入社員向け
- チームビルディング
- リーダー育成
- ハラスメント対策
- ダイバーシティ

株式会社華ひらく
内木 美樹

会社概要

法人名： 株式会社華ひらく
住所： 東京都新宿区新宿1-24-7-408
電話番号： 03-5379-3800
設立： 2010年11月
資本金： 800万円
代表： 内木 美樹

事業内容

- ・コミュニケーション研修
- ・カラフルモデルのマネジメント
- ・障害に関するイベントの企画・プロデュース
- ・チーム☆チャレンジの運営



こんな企業におすすめ

- ✓ 社内の雰囲気を良くしたい
- ✓ 若手と管理職でコミュニケーションがとりづらい
- ✓ プレゼン力を向上したい
- ✓ 多様な人材を雇用したい
- ✓ 年齢や性別などに関係なく
意見を言い合えるチームをつくりたい
- ✓ ハラスメント対策に何かしたい
- ✓ 新しい部署（チーム）をつくりたい

高まる「障害児者と過ごす研修（イベント）」へのニーズ

	パナソニック (労働組合)	ネットヨタ南国	マルブン
名目	ボランティア イベント	新人研修	研修
対象者	①障害のない社員 ②障害のある社員 (障害のある子をもつ社員)	新入社員全員と 視覚に障害のある方	障害児、医療ケア児、 健常児と社員
日数	1日(10時～17時)	3～5日	1泊2日
場所	TDR	四国 お遍路巡り	キャンプ場
目的	①ボランティアを始める きっかけとして ②外出のきっかけとして	【教えない研修】 未体験の場に身を置くこと によって、想定された学び ではない、それ以上の何か を掴んで欲しい。	やさしい人を育てる為。 幸せを感じる為。
得た物		自分にとっての当たり前や 日常に感謝する心	多様性による やさしさのスイッチ ⇒新たな気づき

何よりも重要なコミュニケーション。
そもそもコミュニケーションとは？

来週のプレゼン資料の作成、
お願いします。

1. 言語コミュニケーション

- 言葉
- 相槌



何を伝えるか（聞くか）

冷たく聞こえやすい

2. 非言語コミュニケーション

- 身振り手振り
- 表情
- 声の強弱
- 声の抑揚（高低）
- アイコンタクト
- 頷き



どう伝えるか（聞くか）

感情の受け渡し

障害のある子と遊ぶことで なぜコミュニケーション力が上がるのか？

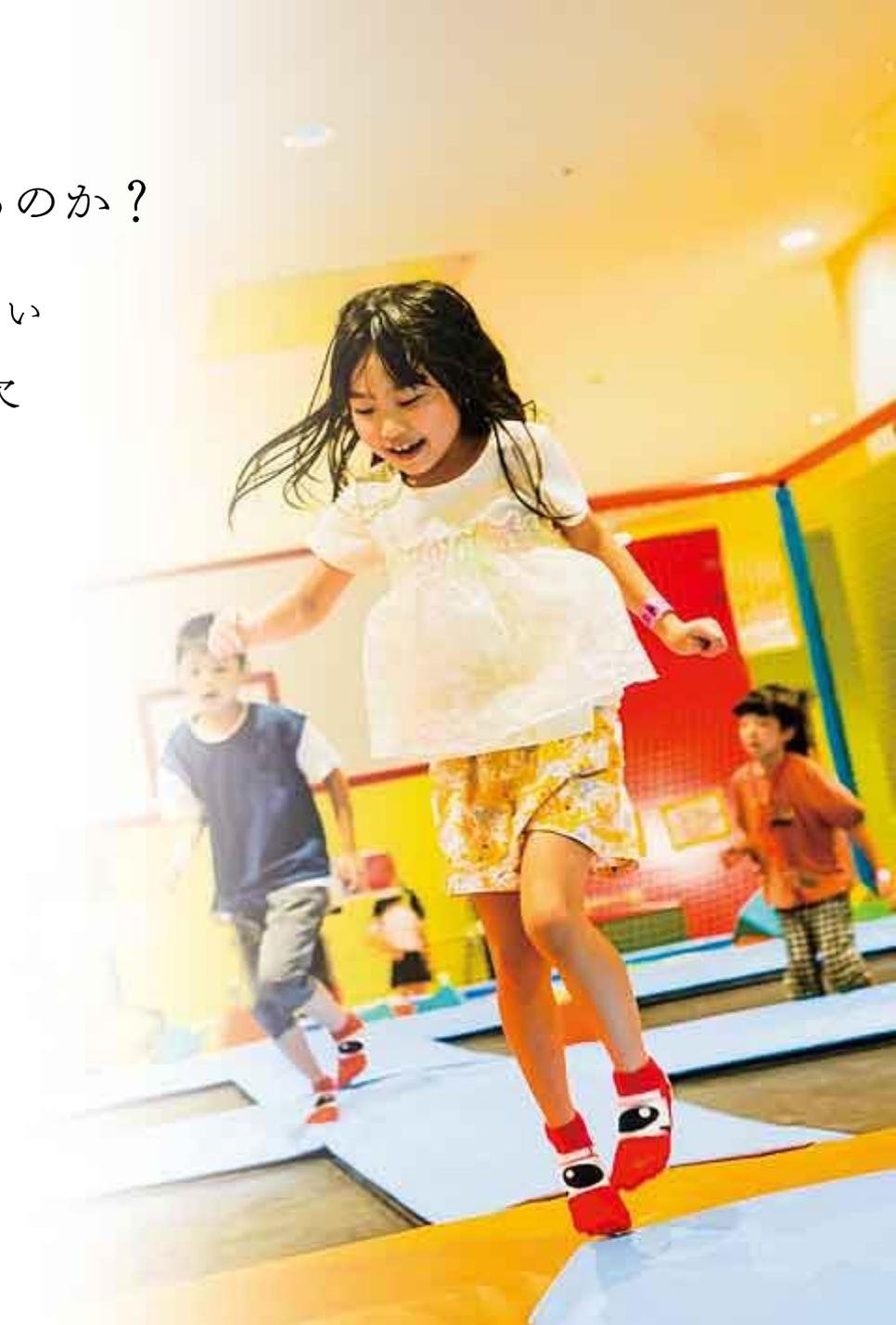
① 会話によるコミュニケーションが難しい

➡ 非言語コミュニケーションが不可欠

- 相手の目の高さに合わせる
- 目を見て会話する
- 笑顔で
- 身振り手振りを豊富に
- 言葉はゆっくりと
- 結論を明確に
- 褒める
- 「ありがとう」の多用

② 「障害」という非日常を体験

➡ 視野の拡大



保護者の話を聴くことで なぜコミュニケーション力が上がるのか？

① 触れづらい「障害」をあえて話題に

➡ 1歩前に入る勇氣

② 保護者にとって話しやすい雰囲気を提供

➡ 傾聴力の向上

- 目を見て聴く
- 笑顔で
- うなづきの頻度、深さ
- 相槌の有無、頻度、深さ

③ 「障害」という非日常を体験

➡ 価値観のアップデート



当コミュニケーション研修の効果

新入社員向け コミュニケーションが生まれやすい雰囲気

チームビルディング 意見や質問が出しやすいチーム作り

リーダー育成 伝える力、傾聴力、褒める力、感謝する力が向上

ハラスメント対策 多様な人や考え方への理解度向上

ダイバーシティ 見えなかった世界を可視化する事で視野の拡大

+

多様性への理解、企業イメージの向上

コミュニケーション研修の内容

構成

① オリエンテーション

本研修の流れ、目的、参加障害児の紹介、コミュニケーションのヒント

②-1 遊びを通じたコミュニケーション（体験）

障害児とモールへ出かけたり、一緒に運動したり、アートを作り上げたり、TDRで遊んだりしながら、障害の世界という非日常を体験していただきます。また、言葉による対話が難しい障害児とどうコミュニケーションをとるのかを考え、ご自分なりに実行していただく事で、想像力や考える力を存分に発揮する機会となります。

②-2 保護者へのインタビュー（体験）

障害児を育てている保護者に、あえて「障害児子育て」という聞きにくいテーマについて質問をしていただきます。センシティブな話題だからこそ、「話しやすい空間」が大切になります。そのために自分が何ができるのかを考えましょう。そして、社会的に配慮を必要としている人の生の声に耳を傾けましょう。今まで見えなかった世界が見えてくるはずです。

③ 座学（インプット）

私たちがいかに言語コミュニケーションに頼っているか、非言語コミュニケーションの重要性や種類、表情、アイコンタクト、身振り手振り、声の強弱、抑揚、うなずき、相槌、枕詞 など

コミュニケーション研修の内容

構成

③ 座学（インプット） 続き

研修の最後に、振り返り研修までの1カ月の間にいつ、何をやるのかを明確に決めます。

④ 振り返り研修

体験や座学の1カ月後に再度集まり、学んだことを覚えているかの復習を行います。また、実行した上での自分の変化、周りの変化、新たな気づきや疑問を発表します。

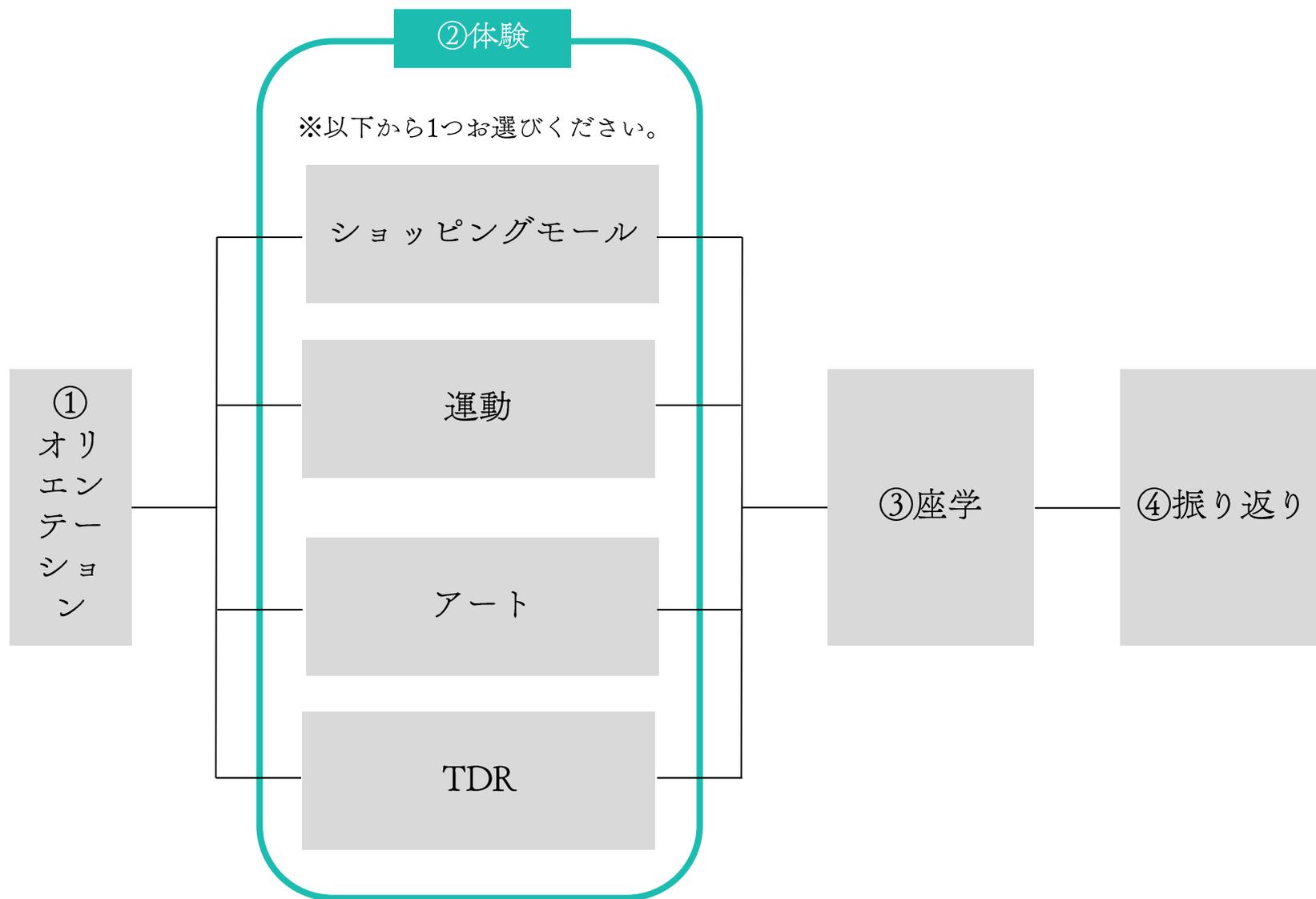
グループのメンバー

1. 貴社社員（3～4名）
2. 障害児（1名）
3. 保護者（1名）

場所

お選びいただけます

コミュニケーション研修の流れ



※体験はグループ毎の移動となります。

体験（障害児とどこで何をやるか）は選択自由！

1 ショッピングモール（3～4時間）

特におすすめ： **新入社員** **ハラスメント対策**

場所：イオンモールなど

障害児と大型ショッピングモールに行き、屋内遊具で遊んだり、フードコートでご飯を食べながらコミュニケーションをたくさんとっていただきます。同時に、保護者に「お子さんの障害」という聞きづらい話題に関するインタビューを行い、傾聴力を実践練習しましょう。

2 運動（3時間）

特におすすめ： **新入社員** **チームビルディング** **リーダー育成**

場所：近隣の体育館

リレーやサッカーなどを障害児と一緒に楽しんでいただきます。リレーなのに走らない子、逆走する子、サッカーなのに手を使いまくる子など、つっこみどころ満載ですが、みんなで声を出し合い、支え合いながら、勝敗ではなく「コミュニケーションが生まれやすい場づくり」を練習をしましょう。

体験（障害児とどこで何をやるか）は選択自由！

3 アート（3時間）

特におすすめ： **新入社員** **ハラスメント対策**

場所：貴社会議室

障害のある子とアートの制作に取り組んでいただきます。「上手につくる」や「評価の高いものをつくる」という他者評価は一切忘れ、グループ内で活発に声をかけあい、褒めあいながら、世界で1つしかないアートを作り上げていきましょう。

4 ディズニー（6時間）

特におすすめ： **新入社員** **ハラスメント対策** **チームビルディング** **リーダー育成**

場所：TDR

TDRは、障害者にとっても夢の国である事をご存知でしょうか。障害がある人でも安心して心から楽しめるための配慮の数々は、他のテーマパーク（遊園地）とは桁が違います。そんなTDRを障害者と一緒に入園し、たくさんコミュニケーションをとりながら障害者目線で園内を見ることで、本当に必要な思いやりの本質が見えてきます。

TDRへ研修に行く理由

	TDL	TDS	USJ	ナガシマ スパーランド	ハウステンボス
多目的 トイレ	25	18	19	3	16
多目的 ベッド	24	18	4	救護室(1)	3
オスト メイト	24	18	2	1	2
待ち 時間	ディスアビリティ アクセスサー ビス	ディスアビリティ アクセスサー ビス	ゲストサポー ト・パス	なし	不明
食事 加工	10	11	3	なし	不明
聴覚	ハンディーガ イド	ハンディーガ イド	字幕表示メガネ	-	不明
視覚	ハンディーガ イド	ハンディーガ イド	不明	-	不明

TDRは障害者をも歓迎してくれる

料金例 ※金額は2024年3月時点のものです。

体験先	ショッピングモール
参加従業員人数	12名
参加障害児人数	3名
日数	1日（8時間）＋3時間（振り返り）



1日目（8時間）

- ① オリエンテーション（貸会議室）
- ② 体験（幕張イオンモール）
- ③ 座学（貸会議室）

2日目（1か月後）

振り返り研修（3時間）

研修費 約500,000円（41,600円／人）

内訳 交通費（全員分）、貸会議室使用料、プロジェクター&スクリーン使用料、モール内の施設料（全員分）、昼食代（全員分）、保険料、障害児&保護者謝礼、華ひらくコーディネート料

※ 全員とは、貴社従業員12名、貴社研修ご担当者2名、障害児3名、保護者3名、華ひらくスタッフ1名の計21名です。

料金例 ※金額は2024年3月時点のものです。

体験先 TDR

参加従業員人数 12名

参加障害児人数 3名

日数 1日（8時間）＋1日（6時間）＋3時間（振り返り）

1日目（8時間）

① オリエンテーション（貴社会議室）

② 体験（TDR）

2日目（6時間）

座学（貴社会議室）

2日目（1か月後）

振り返り研修（3時間）

研修費 約600,000円（約50,000円／人）

内訳 交通費（全員分）、TDR入園料（全員分）、昼食代（全員分）、保険料、障害児&保護者謝礼、華ひらくコーディネート料

※ 全員とは、貴社従業員12名、貴社研修ご担当者2名、障害児3名、保護者3名、華ひらくスタッフ1名の計21名です。

今後の流れ

1

お問い合わせ

2

研修内容のご説明

3

参加人数や場所、日数の確定

4

お見積り&ご検討

5

ご請求&お支払い

6

体験&座学研修

7

振り返り研修

よくいただくご質問

Q. どういった障害をもっている子が参加しますか？

A.

弊社に登録している多くの子たちは、知的障害や発達障害を持っています。つまり、ぱっと見る限り障害がある事が分かりづらい（見えづらい）子たちです。そして、多くの子は言葉によるコミュニケーションの難しさがあります。

Q. 障害のある子を研修に利用するって差別なのでは…？

A.

それは間違った配慮です。弊社に登録している障害児の保護者はみな、「もっと障害を知ってもらいたい。理解してもらいたい」と考えています。そして、当研修のように障害者と社会との接点を作る事で、障害への知識や理解が広まると考えています。この活動には、障害児を育てる保護者の願いが込められているのです。

みなさんの多くは、障害（特に知的や精神）をもった方々とどう接すればいいのかわからず、戸惑われると思います。しかし、社会には色々な人たちがいます。たまたま、これまでの人生で障害のある人との接点がなかっただけで、社会には障害のない人もある人も当たり前が存在しています。この研修を機に、障害のある人が本当に必要としている配慮を知っていただければ幸いです。

Q. 言葉が通じない子とどうやってコミュニケーションを取ればいいのか？

A.

それを考え、実行していただくのがこの研修のメインイベントです。コミュニケーションで大切なのは、相手をよく観察する事、そして、相手を思いやる事です。すると、言葉が話せない人とでも自ずとコミュニケーションが取れるようになってきますよ。

Q. 障害児を育てている保護者に、障害児子育てについて尋ねるって失礼なのは…

A.

これも間違った配慮です。日本ではこれまで、「障害」があまりにも触れてはいけない、センシティブな話題として捉えられていました。しかし、触れなければ知識も理解も広がりません。保護者はみな、知ってもらいたいと願って参加していますので、遠慮なくぶつかっててください。答えられない（答えたくない）質問には、正直にそのようにお伝えします。

Q. とは言え、障害に関する質問ってすごく難しいのですが…

A.

だからこそ、研修に組み込んでいます。なぜなら、円滑なコミュニケーションを取る上で、「若干の凶々しさ」はとても重要だと考えています。「これを言ったら失礼かな？」「これを聞いたら機嫌を悪くさせてしまうかな？」と相手の心情ばかり重んじると、何も言えず何も聞けません。いいコミュニケーションとは、互いに恐れず飛び込む勇気があり、仮に少々失礼だったとしても教えられる関係性です。

当研修で、ぜひ「1歩前に入る勇気」を習得していただきたいと願っています。